



Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2023 - 2024

世界に希望を生み出そう



RI会長：ゴードン R. マッキナリー 会長：熊田 浩 幹事：住田英樹

例会場/JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30~13:30

世界に希望を生み出そう

2022-23年度 6月28日 第48回

日時/令和5年6月28日(水) 18:30~

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 白井 克彦



・最終例会です、1年間有り難うございました。大変色々苦勞しましたが、会員皆様方のご支援を賜り無事終了する事ができました。心より御礼申し上げます。この経験・能力を今後高松南ロータリークラブの益々の発展の

為に全身全霊で頑張っていきます。結果的にやり残した事は引き続き継続的に次年度に協力していきます。

- ・【ロータリーがすべてボランティアによる団体であり、その会員すべてが指導的立場にある人々であることを忘れてはならない点です。】私は常に思っています。
- ・貴重な経験を今後の人生・仕事に活かしていきます。
- ・1年間本当にありがとうございました。グットラック！

幹事最終スピーチ

幹事 谷本 昌英

親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、※SKTHL

この中核的価値をスタートポイントとして、私たちロータリーは活動をしています。2022 - 23年度、白井会長が発信したクラブのテーマ【イマジンロータリーを実践し、その楽しみをみんなのために】その実現のために、歴史ある高松南ロータリークラブの幹事として、「骨惜しみをしない、素直に、すぐに、すっとやる。」のスピリッツで、充実したクラブ運営ができますよと微量ながらこの1年間努めてきました。

至らない点があった時は、自責として受け入れ適応し、行動するようにも努めました。振り返ると、白井会長の言う、「楽しめる例会！」に近づけたのではないかと感じております。もちろん、そう感じる事ができたのは、この1年間クラブ運営にご協力くださった、太田PDG、豊田PDG、はじめ、各委員長の皆様、各委員の皆様のおかげです。ありがとうございました。

そして、微に入り、細に入り、側面支援くださった鷺谷さん、おつかれ様でした。そして、ありがとうございました。また、クレメントホテル高松のスタッフの皆さま、音響スタッフの皆さま、つつがなく例会が行えたのも皆様のおかげです。ありがとうございました。そして、なにより「楽しめる例会！」の実現のために、全力で駆け抜けてこられた白井会長、本当に、本当に、おつかれ様でした。

多少強引な面もありました、わがまま通すところもありました、でもそれ以上に、自分自身が実行してきました。この1年間を一緒に取り組めたことは、私のLIFEにおいて、大きな1ページ

となりました。ありがとうございました。これで幹事の役目は終わらせて頂きます。本当に皆さま、ありがとうございました。



最終例会で花束贈呈

ニコニコ箱

田辺はまゆうRC 山本様「白井会長1年間おつかれさまでした。」
白井会長「1年間有りありがとうございました。大変お世話になりました。ノブレス・オブリージュ」

松本会員「退会挨拶」

谷本幹事「イマジン・ロータリー、1年間本当にありがとうございました。」

太田PDG「耳の遠い私のためにいつの間にかプライベートな拡声器をつけて下さった白井会長、谷本幹事の優しい心くぼりに感謝申し上げます。」

谷東会員「白井会長、新人の私を一年間ひっぱっていただき、ありがとうございました。」

松木会員「白井会長、谷本幹事、1年間本当におつかれさまでした。他ロータリーへのメイキャップ、ゴルフコンペなどいろんなイベントを企画して頂いてロータリーに来ることが楽しくてあつとつ間の1年間でした。ありがとうございました。」

岡(隆)会員「白井さん、谷本さんご苦勞様でした。次年度も頑張ってください。松本さん長い間ご苦勞様でした。大切なことを教えていただきました。感謝です。金岡さん、福岡いくわ。」

渡辺会員「白井会長はじめ役員の皆様さん大変すばらしい年度でした。ありがとう」

金岡会員「短い間でしたが、楽しい時間でした。ありがとうございました。」

田中(理)会員「白井会長、谷本幹事、一年間お疲れさまでした。またローターアクトへのご理解とご協力もありがとうございました。最終例会に参加できずすみません…次年度もよろしく願います。」

吉田直樹会員「白井会長おつかれさまです。」

中村会員「白井会長。谷本幹事1年間お疲れ様でした！」

吉田直由会員「白井会長、谷本幹事今年度大変お世話になりました。又、委員会、諸先輩方の皆様にはプログラム運営においてありがとうございました。新年度もよろしくお願い致します。」

三宅会員「白井会長ごころうさまでした」

今城会員「SAA、一年間お世話になりました。」

田中(秀)会員「白井会長おつかれさまでした。」

浜川会員「ソバハニさん、オリーブオイルありがとうございました。」

宮本会員「白井会長、1年間お疲れ様でした。来期もロータリー含め公「私」共によりしくお願いします。」

計¥81,000 合計¥1,335,350

会員掲示板

●メイクアップ/14名

ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー「宮本会員」

「ともに遊び ともに学び 奉仕しよう」2023-2024年度スタート

2023-24年度

7月5日 第1回

日時/令和5年7月5日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

プログラム/クラブ運営方針発表

会長挨拶

会長 熊田 浩



「ともに遊び ともに学び 奉仕しよう」

なぜロータリークラブの会員でいるのか自問してみると、会員との交流の楽しみや人として多くの事をロータリーから学ぶ楽しさ、なにより自分が誰かにしたことに対して感謝されるよろこびを実感できるからだとの答えを持っています。

会員との交流については、3年以上続いた新型コロナ感染症による社会の混乱を経験し、会員が集う例会が毎週開催され、例会に参加できる事のよろこびを骨身に沁みて実感しました。

ロータリーでの学びについて、会員との交流から得られる学びは大変貴重です。様々なバックグラウンドを持つ会員と接することで、多くの気づきを得られます。相手を尊重し自らを冷静に客観的に見つめられれば、このことの素晴らしさが理解できると思います。ロータリアンの基本原則は、ひとりひとりのロータリアンは長幼の序というものは多少ありますが、皆平等で上下関係がない、志を同じくする仲間同士であるということです。様々な意見交換を通じて友情を深め自己研鑽に努め、その結果として人として成長し、奉仕の心が育まれるというのが理想です。

ロータリーの奉仕とは、思いやりの心をもって人のために尽くすことです。その結果として奉仕をした相手から感謝される喜びというのは、何物にも代えがたいもので、心を（さらに言えば人生を）豊かにしてくれます。奉仕とは人を幸せにすることで自分も幸せになり、より良い社会をつくる礎であるとも言えます。また、奉仕は理想に留まるものではなく、実践して多くの感動を得るものです。自らの職業は無論のこと、生き方そのものが奉仕と一体化できれば、どんなに幸せで、素晴らしいことでしょうか。

このような考えのもと、本年度のクラブのモットーは、「ともに遊び ともに学び 奉仕しよう」としました。親睦と奉仕の調和をとりながら居心地の良いクラブであり続けるよう努めてまいりますので、会員の皆さまのご協力をお願い申し上げます。



認証状の引継ぎ



新役員



誕生日(森会員)



入会式
村上達郎会員

ニコニコ箱

熊田会長「今年1年よろしくお願いいたします。」

田中副会長「副会長として今期一年間よろしくお願いいたします。」

宮本会員「1年間つたない司会ですがよろしくお願いいたします。」

詫間会員「職業奉仕委員会一年間よろしくお願いいたします。」

住田幹事「今年一年よろしくお願いいたします。」

白井会員「2023-2024年度熊田会長、住田幹事、一年間頑張ってくださいね。大変ですけど、楽しんでください。グッドラック!!」

豊田PDG「誕生日ありがとうございました。今年度もよろしくお願いいたします。」

大西会員「今月は誕生日であり、私が入会させていただいてちょうど1年が経ちました。ありがとうございました。また今年度もよろしくお願いいたします。」

森会員「誕生日祝いありがとうございました。」

ソバハニ会員「熊田丸の出航をお祝いします。ボン・ボヤージュ」

計¥26,000 合計¥26,000

会員掲示板

●メイクアップ/4名

ロータリーソング「国歌、四季のうた、パースデーソング」

ソングリーダー「平井会員」

2023-24年度

7月12日 第2回

日時/令和5年7月12日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

プログラム/第3回クラブ協議会~5大奉仕委員会活動方針発表~

会長挨拶

会長 熊田 浩



「ロータリーの特別月間と7つの重点分野」

ロータリーの特別月間とは、クラブだけでなく、ロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー理事会が指定した月間のことです。9月、10月には日本独自の月間テーマが設定されています。また、ロータリーは7つの重点分野を掲げ活動していますが、この7つの分野は全て特別月間に割り付けられています。今月は母子の健康月間です。現在、日本は世界で最も乳児死亡率が低い国の一つですが、昭和14年までは、10人に一人は満1歳を迎えることなく亡くなっていました。戦後、昭和23年には「母子手帳」制度がスタートし乳児死亡率の低減に大きく寄与してきました。現在、この日本の母子手帳の制度はJICAなどの団体により世界40ヶ国に広がっているそうです。ロータリーが日本の「母子手帳」制度を世界に広め乳児死亡率の低減に貢献していると言う事実は確認できませんでしたが、ロータリーのプロジェクトとして、ニュージーランドの助産師が米山奨学生バトドルジ君の祖国モンゴルの医療従事者教育に取り組み、モンゴルの妊産婦および乳児死亡率の低減に大きく貢献した事例があるので、その動画を紹介します。<https://www.youtube.com/watch?v=LrBja7W-Y1w> 動画の中で紹介されているネルソン・マンデラ氏の“Education is the most powerful weapon which you can use to change the world.”「教育は世界を変えられることができる最強の武器である」という言葉は多くの所で引用されている名言です。母子の健康月間についてお話させていただきましたが、今年度はこのような形で、それぞれの特別月間にロータリーの重点項目について紹介していきます。

ロータリーの特別月間 Special Month in Rotary

7月	母子の健康月間	
8月	会員増強・新クラブ結成推進月間	
9月	基本的教育と識字率向上月間	ロータリーの友月間
10月	地域社会の経済発展月間	米山月間
11月	ロータリー財団月間	
12月	疾病予防と治療月間	
1月	職業奉仕月間	
2月	平和構築と紛争予防月間	
3月	水と衛生月間	
4月	環境月間	
5月	青少年奉仕月間	
6月	ロータリー親睦活動月間	



クラブ奉仕委員長 国際奉仕委員長 社会奉仕委員長 職業奉仕委員長



米山表彰 幹事報告 奨学生 バトルDJ君 ソングリーダー 平井会員

ニコニコ箱

熊田会長「五大奉仕委員会、活動計画発表ありがとうございました。1年間充実した活動をお願いします。」
 渡辺会員「囲碁大会の組み合わせで早退します。申し訳ありません。阪神、首位を守りました。」
 村上会員「これから宜しくお願いいたします。」
 ソバハニ会員「今年も国際奉仕がんばります。庵治の家に遊びに来て、ジェットスキーしましょう。おかげさまで。」
 吉田会員「おつかれ様です。お先に失礼致します。」
 計¥16,000 合計¥42,000

会員掲示板

●メイクアップ/6名

ロータリーソング「我等の生業」
 ソングリーダー「平井会員」

2023-24年度 7月19日 第3回

日時/令和5年7月19日(水)12:30~
 場所/JRホテルクレメント高松
 プログラム/客話「サンポート高松トリアスロンから学んだこと」
 元サンポート高松トリアスロン実行委員長 難波博司氏

会長挨拶 会長 熊田 浩



「551HORAIの経営理念」

皆さんは、大阪では誰もが知っている551の豚まんをご存じですか？この豚まんは一つ一つ職人が手包みで作り、1日平均17万個を当日生産、当日販売しているそうです。

その価格は驚きの一個税込み210円です。この豚まんの会社、株式会社蓬萊のホームページに掲載されている経営理念が秀逸なのでご紹介します。

「フードサービス業界」あるいは「551蓬萊」に興味を持ってこのHPを見てくれている君。「自分は何故、フードサービス業界を選択したか」をもう一度よく考えてみて欲しい。

「不況にも強い業界だから…」「会社に将来性を感じて…」「有名な会社だから…」「人と接するのが好きだから…」「会社の商品が好きだから…」もちろんいずれの理由も「一理」はある。しかしそれらの理由だけで、本当にこの世界で成功しているのだろうか？この世の中、全て「GIVE&TAKE」で成り立っているように思われているが、「この業界」では実はそれは通用しない。フードサービス業界では「GIVE&TAKE」ではなく、「GIVE&GIVE&GIVE&GIVE&GIVE・GIVE…」お客様に「与えて（尽くして）」「与えて」「与えて」…「与えぬいた」者だけが、お客様からの「笑顔」や「ありがとう」という「…&TAKE」を頂くことができる。そしてこの業界に就職するという事は、「サラリーマンになる」事ではないことを自覚して欲しい。我々は「商売人」であるべきなのだ。自分の「都合」や「権利」を主張する人には「フードサービス業」は向いていないであろう。

「GIVE&GIVE&GIVE&GIVE&GIVE・GIVE・GIVE…」を貫き通す自信のある人、そして「商売人」として将来の大きな夢を持っている人のみ、この先のページを読んでほしい。株式会社 蓬萊 代表取締役社長 羅 賢一

如何でしょうか？経営理念としては型破りな書き方をしていますが、この「give and give and give」という考え方に強いこだわりを持って実践しているからこそ551の「豚まん」は多くのファンに愛されているのだと思います。「フードサービス業界」に限らず、すべての業界に通用する考え方だと思います。「give and take」より「give and give and give」、大変参考になる是非とも見習いたい考え方だと思い紹介させていただきました。



篠田地区国際奉仕委員長 山門副SAA 地区補助金奨学生 県内ウクライナ避難者支援のお願い 米山梅吉関連記事紹介(三井広報誌) 鈴木 恵夢さん

客話

元サンポート高松トリアスロン実行委員長 難波博司 様



「サンポート高松トリアスロンから学んだこと」

1. 我が人生は、仕事も学びも遊びもボランティアもチャレンジの連続
 「やると決めたら10年は続ける」覚悟で取り組む

- 2. トライアスロンの歴史は浅く、50年。2000年のシドニーオリンピックから正式競技。
スイム1.5キロ、バイク40キロ、ラン10キロ
- 3. 高松の地盤沈下対策で、民間のボランティアで立ち上げ。
(1)高松で生まれ、高松が好き
(2)瀬戸大橋開通後、支店経済の街、四国の玄関の神話は、崩壊
(3)街の個性は、何?
(4)街の魅力に気づかぬ市民、前例主義の行政
- 4. コンセプト
(1)単にレースだけでなく、高松の活性化のための大会に
①必ず前泊
②前夜祭、表彰式の盛り上げ(高松商業書道部、高松北高応援団、SWJOの演奏、エアレースのデモ飛行、初心者講習会、小学校訪問、パラアスリートの参加、韓国、台湾島の選手の参加、知的障害者のボランティア参加
(2)アジアカップ大会、一般選手・エグゼクティブ・企業対抗リレーの多彩な大会開催
(3)市民、企業、行政の三本柱の協力で開催
①ボランティア含め協力関係者2,000人以上(ボランティアは、8割が企業)
②協力団体200社以上
③総予算 約1億円(2日間開催時) 協賛企業数224社(約4,000万円)
④動員数 約44,000人(2日間開催時)

- (4)各リーダーがリスクをとる覚悟
- (5)自己責任の自覚を広める
- (6)寛容な街づくり
- (7)現状維持は組織衰退の始まり
- 5. 大会の目標「日本一のまちなかトライアスロン」
(1)昨年のコピーはしない
(2)手作りの大会(プロに頼らない)
(3)中央通りの交通規制、エアレース、アジアカップの開催
- 6. 実行委員会
(1)一年中、毎週水曜日の19時から、約50人のボランティアが打ち合わせ
(2)企業協賛活動 真夏にスーツで、約300社の企業訪問
- 7. 人のご縁を大切に
- 8. さらなるチャレンジを

ココココ箱

中村(耕)会員「先週北アルプスの槍ヶ岳に登ってきました。山頂は360度真っ白で何も見えませんでした。達成感を味わうことができました!」

計¥5,000 合計¥47,000

会員掲示板

●マークアップ/3名

ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー「吉田(直)会員」

編集後記

今回のコロナウイルスで理解にくるしむのは、ウイルスがなぜ60億年も生きながらえることができたのか?です。ダーウィンは「種の起源」で、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない、唯一生き残るのは、変化できる者である」と著しています。このウイルスは手を変え品を変え環境に適応してきたのでしょうか。

ところで、人間社会での喜びは、人と人との交わりの中から生まれる、といわれています。安心もまた人と人との交わりの中で育まれます。すなわち、「安全」は人工的に構築されるもので、「安心」は、人工的には構築されません。人と人との信頼の中から生まれます。おたがいさま、喜び、悲しみを共にする中で信頼が生まれ、「安心」が育まれます。しかし、ここ3年のコロナウイルス禍を経て、いつのまにやら日常的になった「新しい生活様式」では「となりと距離をとる」となり、和気あいあいとした食事が「ダメッテ食べることに専念する」「大皿に盛らない」「横並びする」では、人と人との交わりが希薄にならないだろうか?60億年生き続けたウイルスと、せいぜい20万年の人間が共存するには致し方ないことなのではないでしょうか。

先が見えない我慢の社会にあって、ある心理学者が言

うには、「普段とは違う状況の中で、日本全体が不安を抱えている。ストレスやイライラで疑心暗鬼になり、何か理由をつけて攻撃したいという気持ちが高まっている」と指摘。「落ち着いて『自分は、自分のやるべきことをやる』という考えを持った方がいい」と訴えています。

また、先従隗始(せんじゅうかいし)という言葉があります。所謂「隗より始めよ(かいよりはじめよ)」という言葉です。大きな物事をするならば、まず身近なところからはじめようということ。また、物事をするならばまず自分からはじめようということ。今こそリーダーは、何事もほんの少しでもそれを学び、実践し努力する姿勢を見せることではないでしょうか。正に、山本五十六大将の「やってみせ 言ってきかせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」でしょうか。

でも、リーマン・ショックと格差拡大が消費者の価値観の変化を海外の調査機関が調査したところ、虚栄心の充足や一時の快楽はもう不要。親友のように寄り添い、人生を支えてくれる企業や商品を欲しているとの結果が出ました。これは先進国共通の現象としています。これは、ロータリークラブのことを言ってますか。新しいリーダーのもと、奉仕のところで歴史をつなげ、経験を積み重ねる会報をご高覧くださいませ。(編集子)